

下水道事業のストックマネジメントの実施に関するガイドライン 新旧対照表

新	旧
<p data-bbox="237 416 882 483">下水道事業のストックマネジメントの実施に関するガイドライン</p> <p data-bbox="237 708 405 738">平成27年11月</p> <p data-bbox="253 780 477 810">(令和4年3月改定)</p> <p data-bbox="237 963 853 1031">国土交通省水管理・国土保全局下水道部 国土交通省国土技術政策総合研究所下水道研究部</p>	<p data-bbox="1111 416 1756 483">下水道事業のストックマネジメントの実施に関するガイドライン</p> <p data-bbox="1111 708 1279 738">平成27年11月</p> <p data-bbox="1111 963 1727 1031">国土交通省水管理・国土保全局下水道部 国土交通省国土技術政策総合研究所下水道研究部</p>

下水道事業のストックマネジメントの実施に関するガイドライン 新旧対照表

新	旧
<p>P2</p> <p>第1編 総論</p> <p>第1章 スtockマネジメントの目的 第1節 スtockマネジメントの定義 1.1.1 スtockマネジメントの定義 (略)</p> <p>【解説】 (略)</p> <p>図 1-1 下水道事業におけるストックマネジメントとアセットマネジメントのイメージ</p>	<p>P2</p> <p>第1編 総論</p> <p>第1章 スtockマネジメントの目的 第1節 スtockマネジメントの定義 1.1.1 スtockマネジメントの定義 (略)</p> <p>【解説】 (略)</p> <p>図 1-1 下水道事業におけるストックマネジメントとアセットマネジメントのイメージ</p>

下水道事業のストックマネジメントの実施に関するガイドライン 新旧対照表

新	旧
<p>P15</p> <p>第2編 スtockマネジメントの実施手法</p> <p>第1章 共通編</p> <p>第1節 Stockマネジメントの基本的な考え方と実施フロー</p> <p>2.1.1 Stockマネジメントの基本的な考え方と実施フロー (略)</p> <p>【解説】</p> <p>①、②、③ (略)</p> <p>④長期的な改築事業のシナリオ設定 リスク評価等に基づく管理方法や、施設全体の概ねの改築周期や健全度・緊急度を基にした改築条件等を踏まえ、今後の事業費を考慮したシナリオを設定する。 シナリオの設定にあたっては、地震対策、浸水対策、耐水化及び地球温暖化対策等施設の機能を向上させる事業など他の計画に位置づけている事業の事業量、事業費、実施時期を調整し設定する必要がある。また、人口減少、節水意識の向上等に伴う処理水量の減少を踏まえ、広域化・共同化による施設の統廃合を行うなど既存ストックの最適化についても考慮して設定することが重要である。</p> <p>⑤、⑥、⑦、⑧、⑨ (略)</p>	<p>P15</p> <p>第2編 Stockマネジメントの実施手法</p> <p>第1章 共通編</p> <p>第1節 Stockマネジメントの基本的な考え方と実施フロー</p> <p>2.1.1 Stockマネジメントの基本的な考え方と実施フロー (略)</p> <p>【解説】</p> <p>①、②、③ (略)</p> <p>④長期的な改築事業のシナリオ設定 リスク評価等に基づく管理方法や、施設全体の概ねの改築周期や健全度・緊急度を基にした改築条件等を踏まえ、今後の事業費を考慮したシナリオを設定する。シナリオの設定にあたっては、普及促進に伴う施設整備、地震・津波対策及び浸水対策等の機能向上の事業量、事業費、実施時期との調整や、人口減少や節水意識の向上等に伴う処理水量の減少を反映し、既存ストック規模を適正化することが重要である。</p> <p>⑤、⑥、⑦、⑧、⑨ (略)</p>

下水道事業のストックマネジメントの実施に関するガイドライン 新旧対照表

新	旧																												
<p>P18</p> <p>第2節 施設情報の収集・整理（現状の把握） 2.1.2 施設情報の収集・整理（略）</p> <p>【解説】</p> <p>表 2-1に示すように、リスク評価、施設管理の目標設定、長期的な改築事業のシナリオ設定、点検・調査計画及び修繕・改築計画の策定に必要な「上位計画」、「他計画」、「諸元」、「リスク」、「点検・調査」、「修繕・改築」に関する施設情報を収集・整理する。</p> <p>表 2-1 施設情報の種類の例</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">項目</th> <th style="text-align: center;">主な情報内容等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(1) 上位計画に関する情報</td> <td>地方公共団体のビジョン、地域の将来計画、下水道ビジョン等</td> </tr> <tr> <td>(2) 他計画に関する情報</td> <td>全体計画、事業計画、<b>広域化・共同化計画</b>、地震対策計画、浸水対策計画、<b>耐水化計画</b>、<b>地球温暖化対策の推進に関する法律に基づく地方公共団体実行計画</b>等</td> </tr> <tr> <td>(3) 諸元に関する情報</td> <td>名称、設置年度、設置価格（費用関数や再設置価格で代用可能）、所在地、構造形式、材質、形状寸法（口径）・容量・能力・延長、土被り等</td> </tr> <tr> <td>(4) リスクの検討に関する情報</td> <td>点検・調査結果、地盤情報、地震被害予測資料、ハザードマップ、機能停止時の影響予測資料、影響度、施設の周辺環境条件等</td> </tr> <tr> <td>(5) 点検・調査に関する情報</td> <td>図面、点検・調査履歴、修繕履歴、事故・故障履歴等</td> </tr> <tr> <td>(6) 修繕・改築に関する情報</td> <td>経過年数、標準耐用年数、診断履歴、改築費用（または改築単価（m単価、m2単価等））、健全度、運転及び水質に関する情報等</td> </tr> </tbody> </table> <p>(略)</p>	項目	主な情報内容等	(1) 上位計画に関する情報	地方公共団体のビジョン、地域の将来計画、下水道ビジョン等	(2) 他計画に関する情報	全体計画、事業計画、 <b>広域化・共同化計画</b> 、地震対策計画、浸水対策計画、 <b>耐水化計画</b> 、 <b>地球温暖化対策の推進に関する法律に基づく地方公共団体実行計画</b> 等	(3) 諸元に関する情報	名称、設置年度、設置価格（費用関数や再設置価格で代用可能）、所在地、構造形式、材質、形状寸法（口径）・容量・能力・延長、土被り等	(4) リスクの検討に関する情報	点検・調査結果、地盤情報、地震被害予測資料、ハザードマップ、機能停止時の影響予測資料、影響度、施設の周辺環境条件等	(5) 点検・調査に関する情報	図面、点検・調査履歴、修繕履歴、事故・故障履歴等	(6) 修繕・改築に関する情報	経過年数、標準耐用年数、診断履歴、改築費用（または改築単価（m単価、m2単価等））、健全度、運転及び水質に関する情報等	<p>P18</p> <p>第2節 施設情報の収集・整理（現状の把握） 2.1.2 施設情報の収集・整理（略）</p> <p>【解説】</p> <p>表 2-1に示すように、リスク評価、施設管理の目標設定、長期的な改築事業のシナリオ設定、点検・調査計画及び修繕・改築計画の策定に必要な「上位計画」、「他計画」、「諸元」、「リスク」、「点検・調査」、「修繕・改築」に関する施設情報を収集・整理する。</p> <p>表 2-1 施設情報の種類の例</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">項目</th> <th style="text-align: center;">主な情報内容等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(1) 上位計画に関する情報</td> <td>地方公共団体のビジョン、地域の将来計画、下水道ビジョン等</td> </tr> <tr> <td>(2) 他計画に関する情報</td> <td>全体計画、事業計画、地震・津波対策計画、浸水対策計画、地球温暖化対策計画等</td> </tr> <tr> <td>(3) 諸元に関する情報</td> <td>名称、設置年度、設置価格（費用関数や再設置価格で代用可能）、所在地、構造形式、材質、形状寸法（口径）・容量・能力・延長、土被り等</td> </tr> <tr> <td>(4) リスクの検討に関する情報</td> <td>点検・調査結果、地盤情報、地震被害予測資料、ハザードマップ、機能停止時の影響予測資料、影響度、施設の周辺環境条件等</td> </tr> <tr> <td>(5) 点検・調査に関する情報</td> <td>図面、点検・調査履歴、修繕履歴、事故・故障履歴等</td> </tr> <tr> <td>(6) 修繕・改築に関する情報</td> <td>経過年数、標準耐用年数、診断履歴、改築費用（または改築単価（m単価、m2単価等））、健全度、運転及び水質に関する情報等</td> </tr> </tbody> </table> <p>(略)</p>	項目	主な情報内容等	(1) 上位計画に関する情報	地方公共団体のビジョン、地域の将来計画、下水道ビジョン等	(2) 他計画に関する情報	全体計画、事業計画、地震・津波対策計画、浸水対策計画、地球温暖化対策計画等	(3) 諸元に関する情報	名称、設置年度、設置価格（費用関数や再設置価格で代用可能）、所在地、構造形式、材質、形状寸法（口径）・容量・能力・延長、土被り等	(4) リスクの検討に関する情報	点検・調査結果、地盤情報、地震被害予測資料、ハザードマップ、機能停止時の影響予測資料、影響度、施設の周辺環境条件等	(5) 点検・調査に関する情報	図面、点検・調査履歴、修繕履歴、事故・故障履歴等	(6) 修繕・改築に関する情報	経過年数、標準耐用年数、診断履歴、改築費用（または改築単価（m単価、m2単価等））、健全度、運転及び水質に関する情報等
項目	主な情報内容等																												
(1) 上位計画に関する情報	地方公共団体のビジョン、地域の将来計画、下水道ビジョン等																												
(2) 他計画に関する情報	全体計画、事業計画、 <b>広域化・共同化計画</b> 、地震対策計画、浸水対策計画、 <b>耐水化計画</b> 、 <b>地球温暖化対策の推進に関する法律に基づく地方公共団体実行計画</b> 等																												
(3) 諸元に関する情報	名称、設置年度、設置価格（費用関数や再設置価格で代用可能）、所在地、構造形式、材質、形状寸法（口径）・容量・能力・延長、土被り等																												
(4) リスクの検討に関する情報	点検・調査結果、地盤情報、地震被害予測資料、ハザードマップ、機能停止時の影響予測資料、影響度、施設の周辺環境条件等																												
(5) 点検・調査に関する情報	図面、点検・調査履歴、修繕履歴、事故・故障履歴等																												
(6) 修繕・改築に関する情報	経過年数、標準耐用年数、診断履歴、改築費用（または改築単価（m単価、m2単価等））、健全度、運転及び水質に関する情報等																												
項目	主な情報内容等																												
(1) 上位計画に関する情報	地方公共団体のビジョン、地域の将来計画、下水道ビジョン等																												
(2) 他計画に関する情報	全体計画、事業計画、地震・津波対策計画、浸水対策計画、地球温暖化対策計画等																												
(3) 諸元に関する情報	名称、設置年度、設置価格（費用関数や再設置価格で代用可能）、所在地、構造形式、材質、形状寸法（口径）・容量・能力・延長、土被り等																												
(4) リスクの検討に関する情報	点検・調査結果、地盤情報、地震被害予測資料、ハザードマップ、機能停止時の影響予測資料、影響度、施設の周辺環境条件等																												
(5) 点検・調査に関する情報	図面、点検・調査履歴、修繕履歴、事故・故障履歴等																												
(6) 修繕・改築に関する情報	経過年数、標準耐用年数、診断履歴、改築費用（または改築単価（m単価、m2単価等））、健全度、運転及び水質に関する情報等																												

下水道事業のストックマネジメントの実施に関するガイドライン 新旧対照表

新	旧
<p>P23</p> <p>第2編 スtockマネジメントの実施手法</p> <p>第1章 共通編</p> <p>第5節 長期的な改築事業のシナリオ設定</p> <p>2.1.5 長期的な改築事業のシナリオ設定 (略)</p> <p>【解説】 (略)</p> <p>事業量や事業費の最適化にあたっては、地震対策、浸水対策、耐水化及び地球温暖化対策等施設の機能を向上させる事業など他計画に位置づけている事業の事業量、事業費、実施時期を調整し、これら他計画を優先させることも含めて適切に設定する必要がある(図2-3)。なお、人口減少、節水意識の向上等に伴う処理水量の減少を踏まえ、広域化・共同化による施設の統廃合を行うなど既存ストックの最適化についても考慮して設定することが重要である。</p> <p>(略)</p>	<p>P23</p> <p>第2編 スtockマネジメントの実施手法</p> <p>第1章 共通編</p> <p>第5節 長期的な改築事業のシナリオ設定</p> <p>2.1.5 長期的な改築事業のシナリオ設定 (略)</p> <p>【解説】 (略)</p> <p>なお、改築事業量及び事業費の最適化にあたっては、普及促進に伴う施設整備や、地震・津波対策及び浸水対策等の機能向上の事業量、事業費、実施時期との調整に加え、人口減少や節水意識の向上等に伴う処理水量の減少を反映し、既存ストック規模を適正化する必要がある。</p> <p>(略)</p>

下水道事業のストックマネジメントの実施に関するガイドライン 新旧対照表

新	旧
<p>P31</p> <p>第2章 管路施設 第2節 長期的な改築事業のシナリオ設定 2.2.2 長期的な改築事業のシナリオ設定 (略)</p> <p>【解説】 (略)</p> <p>(1)、(2) (略)</p> <p>(3) 最適な改築シナリオの選定 最適な改築シナリオの選定にあたっては、改築周期を参考に50～100年程度を対象に、設定した複数のシナリオに対し、「費用」、「リスク」、「執行体制」を総合的に勘案する。最適な改築シナリオを選定する。なお、事業費の平準化にあたっては、他計画の実施時期・投資額を考慮する。</p> <p>(略)</p>	<p>P31</p> <p>第2章 管路施設 第2節 長期的な改築事業のシナリオ設定 2.2.2 長期的な改築事業のシナリオ設定 (略)</p> <p>【解説】 (略)</p> <p>(1)、(2) (略)</p> <p>(3) 最適な改築シナリオの選定 最適な改築シナリオの選定にあたっては、改築周期を参考に50～100年程度を対象に、設定した複数のシナリオに対し、「費用」、「リスク」、「執行体制」を総合的に勘案する。最適な改築シナリオを選定する。なお、事業費の平準化にあたっては、他計画（地震・津波対策、浸水対策等）の実施時期・投資額を考慮する。</p> <p>(略)</p>

下水道事業のストックマネジメントの実施に関するガイドライン 新旧対照表

新	旧
<p>P47</p> <p>第5節 修繕・改築計画の策定 2.2.5.1 基本方針の策定 (略)</p> <p>【解説】 (略)</p> <p>(1)、(2) (略)</p> <p>(3) 修繕・改築の優先順位 修繕・改築の優先順位は、リスク評価に基づいて定める方法が有効である。その際、他計画についても考慮し、優先順位を検討することが望ましい。</p> <p>(略)</p>	<p>P47</p> <p>第5節 修繕・改築計画の策定 2.2.5.1 基本方針の策定 (略)</p> <p>【解説】 (略)</p> <p>(1)、(2) (略)</p> <p>(3) 修繕・改築の優先順位 修繕・改築の優先順位は、リスク評価に基づいて定める方法が有効である。その際、従来の施設整備事業や地震・津波対策及び浸水対策といった機能向上に関する事業などの他計画についても考慮し、優先順位を検討することが望ましい。</p> <p>(略)</p>

下水道事業のストックマネジメントの実施に関するガイドライン 新旧対照表

新	旧
<p>P 65</p> <p>第3章 処理場・ポンプ場施設 第2節 長期的な改築事業のシナリオ設定 2.3.2 長期的な改築事業のシナリオ設定 (略)</p> <p>【解説】 (略)</p> <p>(1)、(2) (略)</p> <p>(3) 最適な改築シナリオの選定 最適な改築シナリオの選定にあたっては、改築周期を参考として50～100年程度を対象に、設定した複数のシナリオに対し、「費用」、「リスク」、「執行体制」を総合的に勘案する。<b>なお、事業費の平準化にあたっては、他計画の実施時期・投資額を考慮する。</b></p> <p>(略)</p>	<p>P 65</p> <p>第3章 処理場・ポンプ場施設 第2節 長期的な改築事業のシナリオ設定 2.3.2 長期的な改築事業のシナリオ設定 (略)</p> <p>【解説】 (略)</p> <p>(1)、(2) (略)</p> <p>(3) 最適な改築シナリオの選定 最適な改築シナリオの選定にあたっては、改築周期を参考として50～100年程度を対象に、設定した複数のシナリオに対し、「費用」、「リスク」、「執行体制」を総合的に勘案する。なお、事業費の平準化にあたっては、他計画（地震・津波対策、高度処理等）の実施時期・投資額を考慮する。</p> <p>(略)</p>



下水道事業のストックマネジメントの実施に関するガイドライン 新旧対照表

新	旧
<p>P71</p> <p>2.3.2 長期的な改築事業のシナリオ設定 (略)</p> <p>【解説】 (略)</p> <p>2) 最適な改築シナリオの選定 シナリオは「改築投資の規模」や「2.3.1 リスクの設定」にて評価した「リスク」、「2.1.4 施設管理の目標設定」で掲げる「目標」との関係を踏まえ、地方公共団体の実情に応じて事業費の平準化を踏まえた最適な改築シナリオを選定する。<b>なお、事業費の平準化にあたっては、他計画の実施時期・投資額を考慮することが望ましい。</b>また、土木・建築施設と機械・電気設備を同時に改築することも、適宜検討することが望ましい。</p> <p>(略)</p>	<p>P71</p> <p>2.3.2 長期的な改築事業のシナリオ設定 (略)</p> <p>【解説】 (略)</p> <p>2) 最適な改築シナリオの選定 シナリオは「改築投資の規模」や「2.3.1 リスクの設定」にて評価した「リスク」、「2.1.4 施設管理の目標設定」で掲げる「目標」との関係を踏まえ、地方公共団体の実情に応じて事業費の平準化を踏まえた最適な改築シナリオを選定する。なお、事業費の平準化にあたっては、他計画（地震・津波対策、高度処理等）の実施時期・投資額を考慮することが望ましい。また、土木・建築施設と機械・電気設備を同時に改築することも、適宜検討することが望ましい。</p> <p>(略)</p>

下水道事業のストックマネジメントの実施に関するガイドライン 新旧対照表

新	旧
<p>P 90</p> <p>第5節 修繕・改築計画の策定 2.3.5.1 基本方針の策定 (略)</p> <p>【解説】 (略)</p> <p>(1)、(2) (略)</p> <p>(3) 修繕・改築の優先順位 他計画を考慮して、修繕・改築に関する優先順位を検討することが有効である。</p> <p>(略)</p>	<p>P 90</p> <p>第5節 修繕・改築計画の策定 2.3.5.1 基本方針の策定 (略)</p> <p>【解説】 (略)</p> <p>(1)、(2) (略)</p> <p>(3) 修繕・改築の優先順位 地震・津波対策及び浸水対策といった機能向上に関する事業などの他計画を考慮して、修繕・改築に関する優先順位を検討することが有効である。</p> <p>(略)</p>